

授業科目名(英文名)	航空電子機械工学特別研究(河邊 博康)2015 年度 前期入学生用 (Aeronautical, Electronic & Mechanical Engineering Studies)
担当者名	河邊 博康
学年	1
教科書	適宜指示をします。
目的または到達目標	各分野の研究指導担当教員はいくつかの研究テーマを提供する。その中から学生は希望する専門を選ぶ。研究指導担当教員は、適宜、学生が行う調査・実習・文献検索・グループ討議等に参画し、適切な助言・指導を行う。さらに、学生が行う文献講読・研究テーマの設定方法・アイデア・課題解決・分析・研究結果・レポート作成・口頭発表などに際して、専攻内の他の研究指導担当教員と協力し、特別研究の価値を高めるための指導を行う。これら一連の研究指導プロセスは、航空機械電子工学特別演習Ⅰ、航空機械電子特別演習Ⅱ及び航空機械電子工学特別研究
授業内容	飛行力学や制御工学に関連した問題やそれを応用した生物飛行の問題などに対して、計算機シミュレーション、文献調査あるいは実験などを通じて、専門知識を修得させる。研究の過程で、これらの問題を自らの力で解決し、プレゼンテーションする能力を修得させ、航空宇宙分野で活躍する人材を養成する。
関連科目	誘導工学特論 A、誘導工学特論 B、航空電子機械工学特別演習Ⅰ、航空電子機械工学特別演習Ⅱ
受講心得	毎回、課題やレポートを出題します。よく復習をしておいてください。
課題・質問等の受付方法	随時、受け付けます。
授業の形式	修士論文の指導を行います。
履修上の注意または履修条件	誘導工学特論 A、誘導工学特論 B を履修しておくことが望ましい。
成績評価の方法	
参考文献及び指定図書	適宜指示をします。